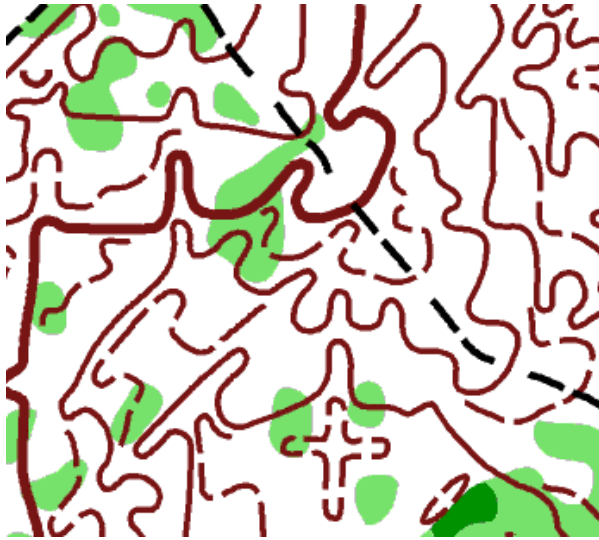


この秋 幻のテレインに会える！

インカレショート2001

広告記事



2001年 北陸 3days!

11月23日(祝) モデルイベント
11月24日(土) インカレショート2001
(石川県加賀市)
併設大会も充実!

11月25日(日) 東日本大会(福井県)

現在調査中の地図の一部
ペローラ絶賛のテレインです。

<http://www.orienteering.com/uofj/ics2001/>

海浜テレインの決定版！

昨年から今年、来年にかけて海浜テレインの当たり年である。その中でも最高の大会はやはり8月に秋田で開催されるワールドゲームズだろう。これは秋田市の飯島防砂林にて開催される。さらに今年はそれに並び立つ海浜テレインとして11月24日開催予定のインカレショート大会がある。

今年はワールドゲームズ、インカレショートという2大イベントを中心に海浜テレインを使用するイベントが数多く開催される予定である。

護られた砂丘の地

インカレショート2001で使用されるテレインは石川県と福井県のほぼ県境の日本海沿いに位置する。ナホトカ号の重油流出事故で話題になった地域である。江戸時代ここは大砂丘地帯であった。砂丘地帯であるがゆえに砂の被害も多かったらしい。実際にテレイン周囲の村では砂の被害で半分が壊滅したという記録もあるそうだ。明治から大正にかけて国家事業としてこの砂丘地帯に松の植林が始まった。こうしてハゲ山だった砂丘は国有林として管理される松林へと変貌した。

「国有林はなかなかオリエンテーリングの使用許可が降りない。」・・・そういった時代もあった。実際、国家事業として行われた植林地では幼木の多い時期はそれを大事に護る必要もあったわけだ。こうして北陸では「加賀

の海岸はオリエンテーリングで使用できない」というのが定説となっていた。

その後、金沢大学OLクラブも大学大会のテレインとして数度下見をしたようである。やはり国有林使用許可の問題もあるし、それ以上にテレインがあまりにも難解で正確な地図を作成することが難しいと判断してO-map化を何度となく諦めていた。

「インカレでもなくちゃここはO-map化できないだろう。」・・・金沢大学OLCの中でもこんなことが語られていたテレインだった。

ペールを脱ぐ幻のテレイン

時代は流れた。インカレショートが始まって、秋にもインカレが開催されるようになった。これで北陸地区でもインカレ開催が可能となった。

時代は流れた。平成になって砂丘の植林はすっかり落ち着いた林になった。

時代は流れた。国有林だからといってオリエンテーリングがなかなか許可されなかった時代は過去のものとなった。今では保養林として積極的に日本国民に森林利用を提供する時代となった。

こんな中、加賀海岸をインカレショートで使用すべく再度検討がなされた結果、このテレインが使用できることになった。こうした検討や交渉には石川県オリエンテーリング協会の皆様の骨折りがあったからこそ。多い

に感謝したい。

作るからには最高品質！

北陸最高のテレインを自負するこのインカレショート。テレインをお借りする日本学連が地元は何をお返しするのか？それは最高品質の地図である。

2000年より開始した地図調査ではスウェーデンのプロマッパーのペローラを投入、その後の調査ではRMOサービスの山川氏を投入。もちろん実行委員も周囲部分では調査に入っている。基点を決める部分ではGPSも一部使用している。

今まで難解で手のつけられなかった地図調査もエキスパート達の手によって見違えるような素晴らしいオリエンテーリングフィールドに変貌してゆく。

11月24日に会える！

運営人数を集めることが難しい北陸地区でのインカレショート。人数的にも予算的にも派手な演出はできそうもない。

しかし、今回のウリは何と行ってもテレインとコースと地図の品質である。とにかく参加者にオリエンテーリングの醍醐味を味わってもらえと信じている。

翌日には近い場所で東日本大会も開催される。まさにOL三昧。